



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2013年4月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



本格的な春を迎え、事務局(東京)でお預かりしている東北のどんぐりが
少しづつ発芽し始めました。子どもの育ちと同様、まだ発芽していないどんぐりも
やさしく、じっくりと見守っていきたいと思います。

(目次)

1. 「子どもの森づくり運動」2013年度の活動について(提案)
 2. 「アウトドアデイジャパン2013」出展レポート
 3. 「子どもの森づくり運動」全国大会のご案内
 4. 事務局からのお知らせ
- どんぐり博士の育苗講座「基本編④」

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟

(順不同) (社)国土緑化推進機構

全国森林インストラクター会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(社)大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(社)日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「子どもの森づくり運動」2013年度の活動について(提案)

新しい年度を迎え、今年も「子どもの森づくり運動」の活動が始まります。新年度にあたり、実施園それぞれの地域での活動と「東北復興グリーンウェイブ」に対して、あらためて事務局からの提案です。

1) 地域での活動への提案

(春) 苗木をお披露目する活動

昨年秋に、地元で拾って育てているどんぐりが苗木として芽吹く時期です。是非、子どもたちや保護者の方にお披露目し、みんなで、どんぐりを育てる意味について再確認する機会としていただければと思います。

(夏) 苗木を見守る活動

まだ幼い苗木にとって、夏草と乾燥は大敵です。

子どもたちと共に、草刈りや水やりなど、苗木の育ちを見守る活動を実施していただければと思います。

(秋) どんぐりを拾い、苗木を植える活動

新しくどんぐりを拾う活動、そして育った苗木を植える活動、さらに、枯れてしまった苗木の「補植」(注)もおすすめします。

* (注)補植: 苗木が枯れたスペースに対して、再び植樹すること。



苗木のお披露目活動



草刈り活動

2) 「東北復興グリーンウェイブ」への提案

春) 苗木をお披露目する活動

東北から届いたどんぐりも芽吹く季節です。

地元のどんぐりと共にお披露目していただき、あらためて、本活動の意味についても考える機会としていただければと思います。

夏) 苗木を見守る活動

一年の中で、せっかく発芽した苗木がもっとも枯れるのがこの季節です。日陰づくりや、こまめな水やり等、苗木のお世話にご留意下さい。

秋) どんぐりを拾う活動

地域での環境活動と共に、東北復興支援活動も継続されます。

今年の秋も、被災地でどんぐりを拾う活動が実施されます。



2013年2月、沖縄の宮古島で被災地のどんぐりが発芽しました。

3) 情報提供のお願い

運営事務局では、今年度も皆様の活動を積極的に発信させていただきたいと思っております。以下、そのための情報提供をお願い申し上げます。2013年3月～6月15日の期間に実施された、子どもたちの森づくり活動は、国連が定める世界の子どもの環境活動「グリーンウェイブ2013」の活動としてエントリーさせていただきます。



<公式ホームページ>

<http://www.kodomono-mori.net>

2. 「アウトドアデejapan2013」出展レポート

「子どもの森づくり運動」の普及活動として、4月6日(土)、7日(日)に、代々木公園(東京都渋谷区)にて開催された「アウトドアデejapan2013」に出展しました。同イベントは、“都心の森で、見て触って体感する日。豊かな自然に感謝しよう”をテーマに開催される国内最大のアウトドアイベントです。両日共に、記録的な強風が吹き荒れる春の嵐模様の天候となってしまいました。それでもアウトドアの祭典にふさわしく、めげずに多くの方にご来場いただきました。「子どもの森づくり運動」では、強風の事情で土曜日だけの出展となりましたが、パネルやDVDによる活動紹介と体験講座として「どんぐり紙はさみづくり」を実施しました。



3. 「子どもの森づくり運動」全国大会のご案内

「子どもの森づくり運動」は、2013年で6年目の区切りの時期を迎えました。

そこでこの機会に、全国の実施園と活動をご支援いただいている方々にお集まりいただき、これまでの活動の検証とこれからの活動についてご協議いただく場を作らせていただければと思います。各研修会においてご好評いただいている、鎌田講師による「危機管理講座」や「自然体験・環境学習講座」等の研修講座も併催します。まだ案の段階ですが、下記に実施概要をご案内しますのでご参加をご検討いただければ幸いです。なお、参加募集の詳細は「子森通信」(2013年6月号)にてご案内申し上げます。

<「子どもの森づくり運動」全国大会実施概要(案)>

- 1) 日時: 2013年11月6日(水)、7日(木)
- 2) 会場: 「大田区産業プラザ(PIO)」(東京都大田区)
- 3) 実施内容(案)
 - ① 基調講演
「被災地からの報告」～東日本大震災の教訓～
山田町第一保育所 所長 阿部哲雄氏
 - ② 「子どもの森づくり運動」のこれからを考えるフォーラム(仮題)
 - ③ 実施講座
「園における危機管理」
(株)タフジャパン 代表 鎌田修広氏
その他
 - ④ 懇親会



研修講座風景



(株)タフジャパン 鎌田修広氏

3. 事務局からのお知らせ

1)「第8回ロハスデザイン大賞2013」へのエントリー

～子どもの森づくり運動「復興グリーンウェイブ」が最終審査にノミネートされました。～

・「子どもの森づくり運動」では、ソーシャルデザインをテーマに実施される、「第8回ロハスデザイン大賞2013」にエントリーしました。同賞は、ロハスライフの支援・認定を行っているロハス公式評議団体、社団法人「ロハスクラブ」が主幹し、「ヒト」「モノ」「コト」の三部門で、毎年、もっともロハス(環境)的な活動が選ばれます。

「子どもの森づくり運動」では、今年、「東北復興グリーンウェイブ(GW)」の活動で「コト」部門にエントリーしました。

・まずは、同賞に個人登録した会員がインターネットによって実施する第一次審査が実施されましたが、「東北復興GW」の活動が、「コト」部門の最終審査にノミネートされました。(「コト」部門エントリーNO:10)

・最終審査は、ひきつづきインターネットによる投票と、毎年5月に「新宿御苑」(東京都新宿)にて開催される「ロハスデザイン大賞2013新宿御苑展」の会場にて、来場者によって行われる直接投票によって審査されます。

大賞、及び審査の方法は、ホームページにて案内されておりますので、是非、インターネットや展示会場での審査にご参加下さいます様ご案内申し上げます。

●「第8回ロハスデザイン大賞2013」公式ホームページ ⇒ <http://www.lohasclub.jp/lda2013>

●「ロハスデザイン大賞2013」新宿御苑展 開催案内

・日時:2013年5月17日(金)～19日(日)9:00～16:00

・会場:「新宿御苑」(東京都新宿区内藤町11番地)

・参加費:無料(*要入園料:大人200円 小・中学生50円 幼児無料)



「新宿御苑展」開催風景
(同賞ホームページより)

2)大分県のフラグシップ園が代わりました。

2013年度から、大分県でのフラグシップ園が「桃園保育園」(大分市/今井謙園長)さんに代わりました。

以下、活動ご参加にあたり、いただいた園長先生からのメッセージです。「“自分でできる、みんなでできる” 自立と自律を発達に応じて自然の中で多くの体験を通し、成長してほしいと思っています。与えられたものではなく、自ら見出し、考え、行動できる環境、それは自然の中でこそ体験できると思います。」

●どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編④～

どんぐりの発芽の季節を迎えました。育苗中のいくつかの園では芽が出始めたと思います。そんな時期なのに、私が原稿を書いている今、雷と共に雹(ひょう)が降り出しました。私も苗を育てていて、小さな芽がいくつか出始めたところです。まだ葉は無く、南向きの軒下近くに置いてあるので大丈夫とは思いますが、さすがに心配です。そこで今回は、途中で書いた原稿は破棄し、苗管理の場所について考えてみたいと思います。

*どんぐり博士:河内和男(「子森ネット」森づくりチームリーダー/森林インストラクター)



苗管理の場所は、自然に雨風の当たる場所で何ら問題ないのですが、ここ数年、極端な天気明らかに増えています。極端な天気とは、豪雨・突風・高温と強烈な日差し等です。例えば広場の真ん中のような場所はそれらに無防備です。そこで、園庭の植栽沿いや・間、長時間日射を遮らない建物や塀のそばなど、強い雨や風と日射などから少しは守ってくれるかな?と思える場所に置いてみることをお勧めします。

あまり過保護だと、弱い苗になってしまい加減が難しいですが、自然でどんぐりの苗が育つのは、森の中だけれど、適度な日当たりのある場所です。そんなことをイメージして管理の場所を考えてみてください。